

平成13年度定期作況報告

6月20日現在
北海道立根釧農業試験場

気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬：最低気温は5.2 で平年並みであったが最高気温が13.7 で平年より2.4 低かったため、平均気温は9.5 で平年より1.2 低かった。降水量は14mmで平年より31mm少なかった、日照時間は37.5時間で平年より6.8時間少なかった。

6月上旬：最低気温は5.9 で平年並みであったが最高気温が18.5 で平年より3.6 高かったため、平均気温は12.2 で平年より1.7 高かった。降水量は47mmで平年並みであった。日照時間は46.8時間で平年より17.3時間多かった。

6月中旬：最高気温は17.2 で平年並みであったが最低気温が6.1 で平年より2.5 低かったため、平均気温は11.7 で平年より1.3 低かった。降水量は25mmで平年より12mm少なかった。日照時間は47.8時間で平年より19.8時間多かった。

この1ヶ月間は総じて、平年に比べ降水量が少なく、日照時間は多く推移した。

気象表

項目	5 月 下 旬			6 月 上 旬			6 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	9.5	10.7	1.2	12.2	10.5	1.7	11.7	13.0	1.3	11.1	11.4	0.3
最高気温 ()	13.7	16.1	2.4	18.5	14.9	3.6	17.2	17.2	0.0	16.5	16.1	0.4
最低気温 ()	5.2	5.3	0.1	5.9	6.1	0.2	6.1	8.6	2.5	5.7	6.7	0.9
降水量 (mm)	14.0	45.0	31.0	47.0	43.0	4.0	25.0	37.0	12.0	86	125	39
降水日数 (日)	5	4.2	0.8	7	4.7	2.3	5	4.0	1.0	17	12.9	4.1
日照時間 (時間)	37.5	44.3	6.8	46.8	29.5	17.3	47.8	28.0	19.8	132.1	101.8	30.3

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：平年並

事 由 播種期以降の気象は、平年に比べ降水量は少ないものの日照時間が多く推移しており、とうもろこしは順調に生育している。

出芽期は両品種ともほぼ平年と同日であった。6月20日現在、両品種の草丈はほぼ平年並で、出葉数はそれぞれ平年より0.3枚少ない。

したがって、目下の作況は平年並である。

品 種 名	出芽期(月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ワセホマレ	6. 2	6. 1	1	20	19	1	4.3	4.6	0.3
ヒノデワセ	6. 2	6. 2	0	20	20	0	4.3	4.7	0.3

注)「ワセホマレ」の平年値は前7か年のうち平成6および10年を除く5か年平均値
「ヒノデワセ」の平年値は前7か年のうち平成7および10年を除く5か年平均値

2. てん菜

作況：やや良

事 由 移植期以降の気象は、平年に比べ降水量は少ないものの日照時間が多く推移しており、てん菜は順調に生育している。

6月20日現在、草丈および葉数は平年に比べて5cmおよび0.7枚多い。

したがって、目下の作況はやや良である。

品 種 名	草 丈 (cm)			葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	24	19	5	11.7	11.0	0.7

注)平年値は前7か年のうち平成6および10年を除く5か年平均値

3. 牧草

(1)採草型(チモシー・アカクローバ混播)

作況：1番草 平年並

事由 草丈は両草種とも平年並であった。

6月上旬以降、好天に推移したため牧草の生育は順調であるが、チモシーの茎数、アカクローバの個体数において冬枯れの影響が懸念されるものの、目下の作況は平年並と判断される。

草地	草種	6月20日草丈(cm)			草地	草種	6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較			本年	平年	比較
「センボク」 3年目	T Y	93	101	8	「ノサップ」 2年目	T Y	97	94	3
	R C	67	75	8		R C	73	70	3
					「ノサップ」 3年目	T Y	104	103	1
						R C	71	75	4

注1) T Y : チモシー、R C : アカクローバ(品種「サッポロ」)

2) 平年値

「センボク」: 3年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

「ノサップ」: 2年目草地は平成8年および12年を除く5か年平均値

3年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均

3) は減を示す

(2)放牧型(オーチャードグラス・ラジノクローバ混播) 作況：1番草 平年並
2番草 平年並

事由 1番草：草丈は、両草種とも平年並かやや低かった。3草地の平均乾物収量は152kg/10a、対平年比は99%であった。
したがって、1番草の作況は平年並と判断された。

2番草：1番草刈取り後の再生は順調であり、6月20日現在の草丈は、3草地とも平年並であった。
目下の作況は平年並である。

草地	草種	1番草						2番草		
		刈取り月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「キタミドリ」 3年目	OG	6.1	6.1	0	46	49	3	43	43	0
	LC				20	23	3	24	25	1
「オカミドリ」 2年目	OG	6.1	6.1	0	40	44	4	45	46	1
	LC				23	23	0	31	26	5
「オカミドリ」 3年目	OG	6.1	6.1	0	48	50	2	48	43	5
	LC				20	23	3	26	26	0

草地	1番草								
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)			マメ科率(生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「キタミドリ」3年目	987	1,129	142	141	159	18	41.5	42.6	1.1
「オカミドリ」2年目	1,303	1,038	265	144	143	1	49.1	52.0	2.9
3年目	1,275	1,148	127	172	161	11	38.4	46.2	7.8

注1) OG：オーチャードグラス、LC：ラジノクローバ(品種「カリフォルニアラジノ」)

2) 平年値

「キタミドリ」：3年目草地は平成9年および11年を除く5か年平均値

「オカミドリ」：2年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

3年目草地は平成9年および11年を除く5か年平均値

3) は減を示す